

行事予定

- 一月 七日(土) 大般若会
- 一月二十八日(土)
 - ダンマトーク
 - 龍源寺・松原信樹師
- 二月 八日(水) 開山忌
- 三月 六日(月)
 - 東京教区詠道部発展拡充大会
- 三月 二十日(月) 春季彼岸会
- 四月初旬 龍雲寺桜ライトアップ (予定)
- 四月 十五日(土)
 - ダンマトーク
 - 曹洞宗・藤田一照師
- 四月二十二日(土)～二十四日(月)
 - 東京教区団参
- 六月中旬 第三百三十八回 三峰榛名講
- 七月 十三日(木)～十五日(土) 棚経
- 七月 十七日(月) 孟蘭盆施餓鬼会
- 七月二十八日(金)～三十日(日)
 - 盆踊り大会 (予定)
- 九月 二十三日(土) 秋季彼岸会



大般若会とは？

唐の玄奘三蔵法師がインドから持ちかえり四カ年を費やして翻訳された最大の教典「大般若波羅蜜多經」六百巻を転読、祈禱する法要です。

仏前には、悪心を取り除く働きのあるといわれる「十六善神」の尊像を掛け人間としての真の幸福と世界平和を祈願する法要で、中国では長い歴史の中で鎮護国家と除災招福を願う重要な祈禱会とされてきました。

日本では文武天皇の大寶三年(七〇三)に行われた記録が「続日本紀」にあります。新しい年を迎えて今年一年の息災を祈るうではありませんか。

編集後記

○新しい年を迎えられ皆様いかがお過ごしですか？○お寺の周囲には、昭和五年に皆様が出さない、火を貰わない様にと沢山のイチヨウを植えて下さったそうです。大木になったイチヨウは黄金色に輝いて綺麗でした。落ち葉の量が物凄いです○NHKの大河ドラマ「独眼竜政宗」の禪指導を昔、方丈さんが。今年の大河ドラマ「直虎」の禪宗指導を住職がさせて頂いています○お写経を気持ち良く落ち込んでいた時に始めたら、気分が良くなり。お写経が習慣になり毎日続けました。何時の間にか百巻に。ご本山の妙心寺に納経。百巻記念にと妙心寺から素敵な硯箱と白隠さんの色紙等が送られて来ました。白隠禅師座禅和讃のお写経は仮名もあり、筆で書いているうちに字が上手になりました。皆様も新年からお写経を始めませんか？○第十次四国八十八ヶ所巡拝を今春第一番札所からスタートします。詳細は、お寺まで。ぜひ一緒に巡拝しましょう！今迄四国巡拝を十巡りして二百五十人以上引率。先月、公認先達になりました○毎年八月十五日から十七日の二泊三日で妙心寺と五山送り火の旅にもぜひご参加下さい。○四国八十八ヶ所巡拝は今回結願したら、お休みさせて頂くつもりです○一月七日の大般若会に皆様とお目にかかれるのを楽しみにしています○山内一同おかげさまで元気にしております。今年もよろしくお願い致します。お元気で。要子

臨濟宗妙心寺派 龍雲寺 花園会報

二〇一七年 正月号

監修／細川 晋輔 編集／細川 要子

〒一五四―〇〇〇三
東京都世田谷区野沢三三三八一

TEL〇三―三四二―〇二三八
FAX〇三―三四一―八九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

閑栖住職 細川 景一

『苟に日に新たに、日に新たに、
又日に新たなり』

皆様方には二十九年の新年を恙なくお迎えの事と存じます。中にはご不幸等悲しい思いをされている方もあると思います。一日も早く元気に元の生活に戻られる事を祈っています。

頼山陽は新年になると必ず「春秋」の「春王正月の章」を読んだと言われています。

東窓凡を払って初日を迎う

読み起こす、春王の章

新年の朝きれいに整頓された机に向かって、心静かに古人の箴言を読むのも清々しいものです。

中国の古代、夏の桀王を倒して殷王朝を建てたと伝えられる湯王が毎日手や顔などを洗い清める為に水を溜める水盤に

「苟に日に新たに、日に新たに、

又日に新たなり。」

との句を掘り込み日々反省したと云われています。今日の日に昨日とは違う新しさがあり、明日はさらに今日の日とは違う新しさが加わる様に、一日一日が自分にとって新しい向上の連続でありたいという意です。昨日より今日、今日より明日と何かを求めて前進して行く。朝起きて洗面所で顔を洗う。鏡を見て昨日の自分と違う顔を見る。楽しいではありませんか。この一年その気持ちを忘れず歩んで行って下さい。必ずや素晴らしい人生が開けてくると信じます。

大般若会

平成二十九年一月七日(土) 於・龍雲寺本堂

午前十一時
午後十一時三十分
正午

御詠歌奉詠
法話
法要 後、昼食会

※お申し込み不要、会費は一家族二千元 今年も別便のご案内は出しません。皆さんお誘いのうえ、一人でも多くご参加下さい。

ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

平成二十九年の新年を迎えました。檀信徒の皆様方におかれましては、それぞれの思いで新年を迎えられたことと存じます。

今年も臨済宗中興の祖・白隠慧鶴禪師が遷化されて二五〇年という大きな節目を迎えます。その白隠禪師をお悟りに導かれたのは、長野県飯山におられた正受老人という禅僧でした。正受老人には「一日暮らし」という有名な言葉があります。

「一日は、千年万年の初めであり、その初めの一日をよく暮らすようにしていると、その日は充実したものとなり、それは一生をよく暮らすことにつながるからだ。ところが人間というものは、とかく翌日のことを考えて、ああでもないこうでもない、まだ先のことについて取り越し苦労をして、一日をむだに過ごしてしまい、その日のことを怠りがちになる。明日もあるから今日はこれでいいだろう、という毎日が続いていってしまうと、今日の一日という意識もなくなってしまう、ついあてもない先のことを頼みとして、その日の自分自身の緊張感がなくなってしまう。明日やればいいと言っても、その明日があるかどうかは誰にもわからない。人の命は、はかないものだからこそ、今日一日の生活はどうなってもいいということではなく、今日の一日を精一杯つとめ励むべきなのだ。どんなに辛いことでも、一日のことだと思えば耐えられるし、楽しみだって一日のことだと思えばそれに溺れることもない。」

白隠禪師の二五〇回忌にあたり、亡くなられた方の教えに向き合う、そういう機会としたいものです。そして、この新しい年の新しい月の新しい日を迎えるにあたって、この「一日暮らし」という生き方を実践していきたいものです。

募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

一月十七日(火)・二月十三日(月)
三月十三日(月)・四月十八日(火)
五月十五日(月)
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百元のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

◆早朝洗心坐禅会 (初回のみ要予約)

毎週日曜日 朝六時半～八時半(六時開門)
会費 無料
坐禅用のイスもご用意しています。

※初参加の方は六時四十分より説明があります。
※今年二月より初回参加の方のみ予約が必要となります。
※詳しくはホームページをご覧ください。

◆写経会 (申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)
納経料は 一卷五〇〇円 (龍雲寺に納経)

※今年二月より初回参加の方のみ予約が必要となります。
※詳しくはホームページをご覧ください。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

聞修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A (一五〇×二五〇) 永代使用料二二五万円
B (一五〇×一四〇) 永代使用料一四万円
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

◆納骨堂 (お遺骨一時預り 無料・期間五年)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆龍雲寺でらこや子ども論語塾

花園誌に記載。全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わつてからの遊びの時間も大好評です。

【日時】 一月 八日(日)・二月 五日(日)
四月 二日(日)・五月 七日(日)
六月 四日(日)・七月 二日(日)
九月 三日(日)・十月 一日(日)
十一月 五日(日)・十二月 三日(日)
※三月と八月はお休み
午後二時半から

余談ですが、私、今年より始まるNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の禅宗指導をさせて頂いております。父が以前「独眼竜正宗」の禅学指導をしておりまして、不思議なご縁を感じております。ご覧頂けましたら幸甚です。

最後になりますが、檀信徒の皆様にとつて幸せな一年と成りますことを、心より祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

臨済宗妙心寺派東京教区団体参拝旅行 白隠禪師二五〇年遠諱報恩奉仕団 〜妙心寺と北陸の旅〜

妙心寺のお堂のお掃除を含めた奉仕団参りと、南禅寺、福井の曹洞宗大本山・永平寺を特別拝観し、金沢より北陸新幹線をご利用頂きます。

ゆつくりとした日程で、南禅寺の三門等、普段では入れないところも拝観できるチャンスです。ふるってご参加ください。

【日程】平成二十九年四月二十二日(土)～二十四日(月)

【旅行代金】お一人様 六万五千元

※こちらは東京にある臨済宗妙心寺派寺院さまとの合同の旅行になります。
くわしくはお寺までご連絡ください。

四国八十八ヶ所巡拝と妙心寺と五山送り火の旅の詳細は直接お寺まで

【参加費】 大人八百円、子ども五百円
(家庭料金八百円)

申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺ダレマートーク(法話会)

午後二時半から四時半まで (開場 午後二時)

【場所】 龍雲寺本堂

【参加費】 無料

一月二十八日(土) 龍源寺住職・松原信樹師
四月 十五日(土)

曹洞宗国際センター所長・藤田一照老師
※要予約(東京禅センター)

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。

★東京禅センター TEL〇三(五七七九)三八〇〇
FAX〇三(五七七九)三八〇一

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨーガ等があります。

